つなぐ

茨城キリスト教学園
ニュースレター
第１３号

vol.13
2025
SEPTEMBER

茨城キリスト教大学大学院/茨城キリスト教大学
茨城キリスト教学園高等学校/茨城キリスト教学園中学校
茨城キリスト教大学附属認定こども園（みらい園・せいじ園）

発行日 2025.09.19.FRI
編集・発行：法人事務局学園広報
バックナンバーも含めて
学園HPでご覧いただけます

やっぱり先生になりたい

きっかけや想いは、
いろいろあるけれど…

「子どもたちが好き」、「素敵な先生と出会えたことが私の宝物」、「次の世代に、学ぶことの楽しさをつなげていきたい」…先生になりたい！
その夢をかなえるのが
IC ならではの特色ある教員養成です。
数多くの先生たちを輩出してきた IC の質の高い教員養成の秘密にフォーカスします

地域貢献の第一歩は教育から！

本学は、「いばらき子ども大学」というプログラムに協力しています。そこに集まる子どもたちの目はキラキラ輝き、若いエネルギーに溢れています。この子たちに接していると、地域の力を向上させるために、「教育」が大きな役割を果たすことを痛感します。本学は、「教員」という尊い仕事を通じて地域に貢献する卒業生を多数送り出しています。後に続きましょう！

東海林 宏司大学学長

イバキリならでは！
様々な教員免許状を取得できるんです！

イバキリでは、幼稚園教諭・保育士から、高等学校教諭、特別支援学校教諭など様々な教員免許状を取得できます。また、教員採用試験は早期だと３年次から受験できます。

幼稚園教諭
対応学部・学科
● 文学部 児童教育学科 幼児保育コース

小学校教諭
対応学部・学科
● 文学部 児童教育学科 児童教育コース

栄養教諭
対応学部・学科
● 生活科学部 食物健康科学科
食に関する指導・給食管理

中学校教諭（英語・社会・家庭）
対応学部・学科
● 文学部 現代英語学科
● 文学部 文化交流学科
● 生活科学部 心理福祉学科
● 生活科学部 食物健康科学科

養護教諭
対応学部・学科
● 看護学部 看護学科
保健室の先生や健康・保健教育

高等学校教諭（英語・地歴・公民・福祉・家庭）
対応学部・学科
● 文学部 現代英語学科
● 文学部 文化交流学科
● 生活科学部 心理福祉学科
● 生活科学部 食物健康科学科

特別支援学校教諭
対応学部・学科
● 文学部 児童教育学科 児童教育コース
障がいのある幼児・児童・生徒の支援

イバキリならでは！体験型授業からの学び

音　楽
音楽は、まず体験！

歌って、弾いて、日本の伝統楽器にも触れてみよう！

小学校で歌われ、演奏される楽曲から音楽実技の知識や技能を習得します。また、箏など伝統的な和楽器も体験します。

美　術
観て、感じて、かたちにする

創造力を手に、子どもの表現に出会おう！

デッサンや粘土を使った立体造形などの体験活動から、子どもの発達・表現力を伸ばす知能や技能を習得します。

体　育
身体・こころ・仲間 運動を通した新たな気づきを！

体育の目標と内容を理解しよう！

水泳や機械運動、陸上運動、ボール運動など、小学校の体育で実践する運動体験から、児童に応じた指導方法を理解します。

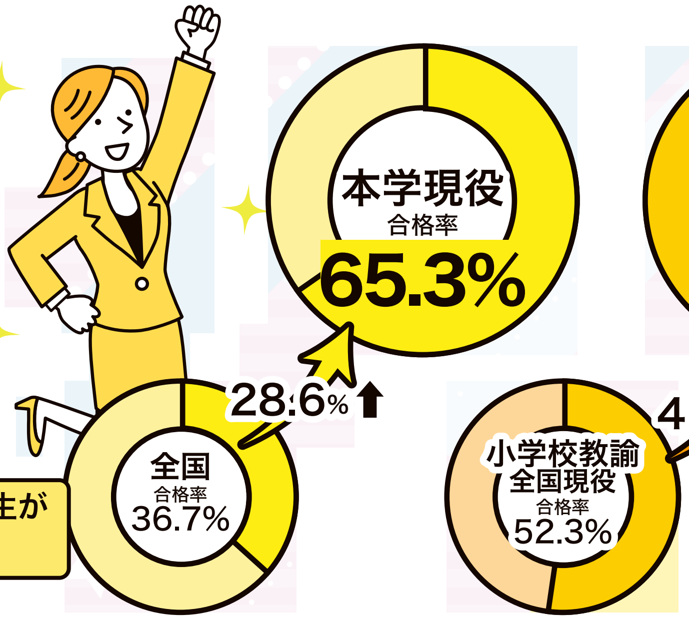
労作体験
土と植物を自分の手で育てよう！

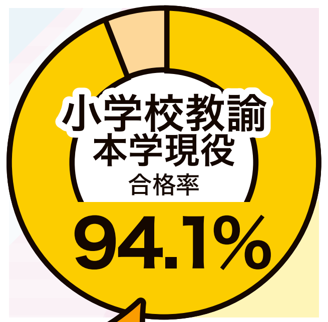
身近な生き物とのつながりが待っているよ！

自分たちで畑を耕し、野菜やハーブを育て自然との関わり方や生命の尊さ、協働の精神、身近な生態系を総合的に学びます。

教員採用試験現役合格率
めっちゃ高いんです！

実は、現役大学生の正教諭合格率は、全国平均の36.7%よりICの方が、**28.6%も高い**んです。
また、**小学校教諭は**特に高く**94.1%**もあります。
毎年の高い実績を教職支援センターの指導や取り組みが支えています。





茨城県内の小学校で、8人に1人の先生がイバキリの卒業生という実績！

※参考：令和6年度（令和5年度実施）公立学校教員採用選考試験の実施状況

先生に
インタビュー！

幼児・児童の自然との関わり、物の性質等に加え自然・生物を生態学の観点から総合的に理解を深めるように取り組んでいます。

児童教育学科 穂積 訓先生
担当科目：労作体験（生活科）と小学校理科研究、保育内容教育法・環境など

教職を目指す学生に向けてアドバイスを！
「目の前に児童・生徒がいる」を意識して学修や課題に取り組んでください。種々の授業や教職支援センターの取り組み、学外活動を通して、自分が理想とする教員像とそのために必要な力を育ててください。

強く印象に残った出来事は？
コロナ禍の緊急事態宣言で学生が大学に来られなかったとき、いつ宣言が解除されてもいいように教材（畑で植物を育てる）を準備して、植物の成長をオンライン授業で配信していました。ただ、回が進むにつれて、リモートで戻ってくるコメントが徐々にギスギスするようになり、学生のストレスが大きくなっていることを実感しました。
ようやく実際に収穫できる日を迎えてジャガイモ掘りを実施したとき、学生たちの生き生きとした活動の様子、そして「オンラインでも、畑の植物に癒されていた」という言葉が忘れられません。人と自然との関り、人同士の関りの意義を強く感じた出来事でした。

斎藤遼太郎です。専門は特別支援教育で、特別支援学校の教員を目指している学生の指導をしています。

児童教育学科 斎藤 遼太郎先生
担当科目：特別支援教育原論、特別支援教育、教職実践演習（小学校）など

教員になる学生にひとこと。
教員は子どもたちに影響を与える存在です。
子ども達は教員となった皆さんのことをよく見ています。
自身の立ち居振る舞いについて今一度振り返ってもらえたらと思います。そして皆さん自身の個性溢れる想いを子どもたちに全力でぶつけてもらえたらと思います。

次年度から茨城県の教員採用が変わりますね。
特別支援学校枠が一定の条件を満たせば教員免許状を取得していなくても受験可能になるとのことなので、専門性の確保や試験での専門性の判断基準がどのように変わるのかが気になっています。

専門は都市地理学で、社会課題※を調べています。研究だけでなく、実践にも取り組んでいます。

※高齢者の健康被害と買い物環境・社会関係資本の関係、外国にルーツのある子の健康・発達被害と成育環境の関係

文学部長 岩間 信之先生
担当科目：人文地理学Ⅰ・Ⅱ、ひたち学

教職をめざす学生、中高生に向けてアドバイスを。
勉強だけでなく、教職に関連する社会貢献活動にも力を入れて下さい。採用試験だけでなく、教壇に立ったのちも役に立つと思います。
教職を目指す中高生のみなさん！本学は社会貢献活動も盛んですよ！

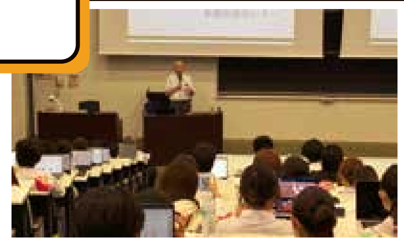
強く印象に残った出来事は？
私の研究課題（社会課題）をゼミ生の活動と連動させるように工夫しています。ゼミ生の多くは行政関係に就職していますが、教師になった学生もいます。外国にルーツのある子どもに関する研究では、教職を目指す学生が卒論テーマにしてくれたことが嬉しい出来事ですね。

強力なサポーターが
揃っています！

教職支援センターの特徴

1	2
学年に応じた対策講座	教職を志望する全学生に対応
3	**4**
受験への不安をなくす個別面談	教師の育成による社会貢献

夢を叶えるための
強い味方であり続ける
教職支援センター



在学生の皆さんには、教員採用試験に向けた講座だけではなく、受験校種・職種に合わせた学習の進め方や進路相談の機会を設けており、学生が自信を無くしたり不安を感じたときにも対応しています。また、多様な試験への対応も行っており、茨城県を中心に常に最新の情報に基づいた対策・助言を行っています。また首都圏や福島県など隣県の採用試験についても個別に対応しています。

教職支援センター
稲野邊 親先生

みんなで教育の力を
真摯に講じて高めあう
NICE（Network of Ibaraki Christian University Educators）

茨城県では新任の小学校の先生8人に1人が、ICの卒業生で、たくさんの現場で活躍しています。NICEはICの卒業生や在学生、教職員の交流を通じて、相互の教育力を高め、支援する場を世代を超えて共有しています。
教育関係者として、教育力や技を磨くだけでなく、人生の楽しみ方や自身が楽しんでいる姿を見せることができるように体験の場を提供し、一緒に楽しんでいけることを目標としています。また、「会員相互の研修事業」として、メンバーの要望などを取り入れながら校務における苦労や成功例を共有し、教育業界の問題点を検討する座談会を行ったりしています。

イバキリ
中学生・高校生から頼もしいコメントが寄せられています

なぜ、先生を目指したいの？

中学２年・女子
・学習、生活、精神面など様々な部分で子どもたちに大きな影響を与え、成長を見守ることができる、かけがえのない職業だから。
・友達と勉強していて、教えたら分かってもらえたのがとても嬉しかった。人の役にもたつことができるから。

高校１年・男子
・中学校のときの先生が、自分が好きな教科のみならず、あまり興味がなかった分野の面白さも授業で気付かせてくれた。あのように教えられる先生になりたいから。

高校１年・女子
・私が教師をめざした理由は、小学生の頃ある先生に出会い、自分もこんな風な生徒一人一人に気をかけてくれる先生になりたいと強く思ったからです。今も教員になりたい気持ちは変わりません。卒業して、またキリストに戻ってきて働きたいと思っています。

HOT TOPICS

ホットトピックスでは学園や各設置校のイベント活動を紹介しています。

高等学校 この夏は総勢27名が海外へ！

X⬇ instagram⬇

オーストラリア短期留学はXから！ G.R.E.A.T. Program は Instagram から！➡

夏は短期留学の季節です！2年ぶりに実施となったG.R.E.A.T. Programには、2年生12名がアメリカのアビリンクリスチャン大学での特別学習プログラムに参加してきました。また、別の2年生15名はオーストラリアのビーコンヒルズ高校への短期留学に参加し、ホームステイをしながら現地の高校生たちと楽しく交流してきました。

大学 学生のアイデアが企業WEBサイトに採用！ –申ゼミの実践型課題解決プロジェクト–

経営学科3年（申教授ゼミ）学生は、地域企業の経営課題に挑む実践的な学びを続けています。6月に「株式会社アプリシエイト（水戸市）」を訪問し、和田幸哉代表取締役社長のニーズに応えて、公式サイトに「従業員数を入力するだけで月額費用が分かる料金シミュレーション」を提案し、導入される成果につながりました。

記事はこちら⬇

学園 夏期SD研修会を開催しました。

学園の専任事務職員を対象に毎年開催しているSD研修会を8月19日に「IC版 職員の主張2025」と称して行いました。3名の若手・中堅職員がそれぞれのテーマ（「DX推進室とその取り組み」「（地域・国際）交流事業の報告」「ウェルビーイング向上のためにワークライフバランスの視点での提案」）でプレゼンテーションし、その後参加者が意見を述べ合うブレインストーミング形式でお互いを知り理解を深める機会となりました。

記事はこちら⬇

中学校 豪州短期留学で大きく成長した生徒たち！！

2週間で生徒たちは心身ともに大きく成長し、たくさんの学びを得ることができました。言葉の壁に直面し、文化の違いに戸惑い、時にはストレスを感じる場面もありました。しかし、そうした困難を乗り越えようとする姿勢を持ち、ホストファミリーや現地校の生徒たちと積極的に関わり、前向きに行動する姿が随所に見られました。その努力が実を結び、互いに理解し合い、心の通った温かい交流を築くことができました。

記事はこちら⬇

こども園 夏ならではの遊びをたくさん行いました。

夏ならではの遊びをたくさん行いました。感触遊びでは赤や青のきれいな色がついた冷たい寒天を触ったり、ビヨーンと伸びる冷え冷えのスライムで遊んだり、氷遊びをしたり。五感で冷たさや気持ち良さを感じながら夢中になって楽しんでいました。子ども達は、友達や先生と関わりながら色々なことを発見し、感じ、全身で吸収していました。２学期も始まり、子ども達の成長が楽しみです！！

編集後記

最近何かと話題になることが多い教員の世界。それでも、やっぱり先生になりたい！
そんな夢と情熱を持って、しっかりと未来を切り拓いていきたいという人たちが多数いることは、教育機関として本当に嬉しく、誇りに思うことです。
今回は茨城キリスト教大学の魅力的な教員養成プログラムにスポットをあてました。
また、イバキリ中学・高校の生徒たちの熱い思いも紹介できました。

教員養成は地域への大きな貢献の一つ。先生になりたい人、ＩＣでチャレンジしてください。 (2025/09/19)

最後までお読みいただきありがとうございました。次号vol.14は、2025年12月発行予定です。

皆さまの声をお聞かせください。Webアンケート実施中